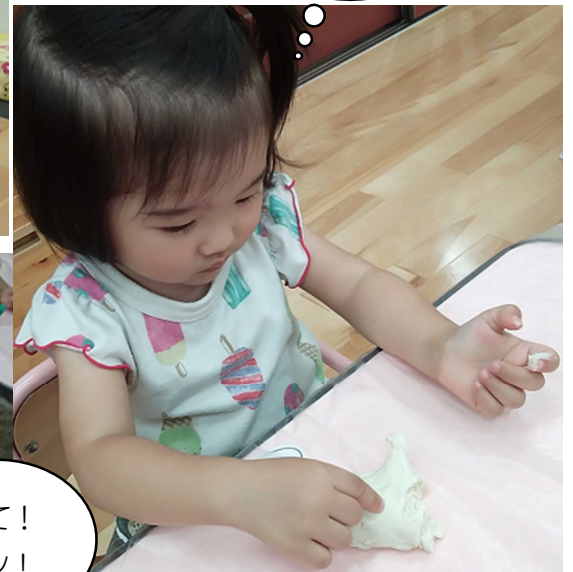
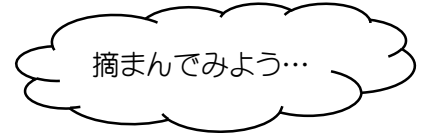


「にぎにぎ、こねこね」

育っている姿(感触を楽しむ、豊かな感性と表現)



保育者や友達と一緒に小麦粉粘土で遊びました。保育者が一人一人の子どもに粘土を配るとじっと見た後、指先で触ったり摘まんだりして感触を確かめていました。「つめたい!」「あ!くっついた!」と粘土を触った感想を教えてくれる子どもや、粘土を触りながらぐにゅぐにゅした感触や伸びる面白さを感じている子どももいました。

しばらく粘土の感触を楽しむと、パン生地のように丸めたり伸ばしたりする子どもの姿が見られるようになりました。友達の遊びを真似たり、ちぎった粘土をくっつけたものを食べ物や生き物に見立てて「パン!」「カエル!」とそれぞれの表現を楽しんだりしています。

初めての感触を味わいながら、一人一人の子どもがそれぞれの遊び方を楽しむ中で感じたり表現したりしているのだと思いました。一人一人の思いに寄り添いながら、子ども達と一緒に新たな発見をしたり遊びを楽しんだりしていきたいと思っています。